

サーモンベリー (1991)

SALMONBERRIES

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 ドイツ

色彩 Color

時間 96分

初公開日 1995/08/15

公開情報 K U Z U I

【解説】

ジャームッシュ風の雰囲気映画を撮るドイツの女流P・アドロンが、カナダ出身でレズビアンのカントリー・ロックシンガー、k・d・ラングをアラスカに連れて行って撮った女のルーツ探しの旅。ラングが鉱山労働者として働きながら、自分の出生の秘密を探る流れ者を（としか言いようのない骨っぽさで）演じて、まるで渡り鳥＝小林旭のようだ。それはいいのだけれど、荒涼とした氷土の美しさだけが際立つ（また、ラングの透明で遅い歌声がよくそこに映えるのだが）この映画、ドラマ的奥行きを拒んで、前作「バグダッド・カフェ」ほどのディテールの豊かさもないので、いたって平板に見終えてしまった。ビデオ発売の後、95年になってやっと劇場公開。

【クレジット】

監督 パーシー・アドロン Percy Adlon

脚本 パーシー・アドロン Percy Adlon

撮影 トム・サイジェル Tom Sigel

音楽 ボブ・ベルソン

出演 k・d・ラング k.d. Lang

チャック・コナーズ Chuck Connors

ローゼル・ゼッヒ